



頑張った学習発表会



17日(土)は、お忙しい中、学習発表会をご参観いただきありがとうございました。お天気にも恵まれ、穏やかな日差しの中で学習発表会を行うことができました。

当日の朝、正門に立って「今日の本番は頑張ってるね。」と声をかけると、いろいろな返事が返ってきましたが、一番多かったのは「緊張します〜。」でした。そうですよね、緊張しますよね。大勢の人の前で表現をする機会はあまりありません。ましてや、お家の方や地域の方からも見られる中での発表ですので、緊張しないわけがありません。それでも、子供たちは自分の気持ちに言い聞かせ、大きな緊張をしっかりとねのけて本番を乗り越えることができました。大きな拍手をおくりたいと思います。

本番は、どの学年の子供たちも、自分のできる精一杯の姿で発表を行うことができました。子供たちの頑張る姿には、人を感動させる力があり、見ていて涙が出ました。

この学年で過ごすのも、残りわずかかとなってきました。次の学年に向け、気持ちを高めていきたいと思います。残りの日々も、どうぞよろしく願いいたします。



溝上のつばやき・・・No.12

我が家のやんちゃ坊主、猫の虎治郎。通称トラ。今年の4月で2歳になります。「いつか落ち着いてくれよ。」と願い続けて約2年。願いも虚しく、相変わらずの元気ぶりを発揮してくれています。この頃は、先住猫のマロンを追いかけ回しては、マロンに「シャー」と言われています。それでも懲りずに何度も挑むトラ。まだ若いので、「遊んで!ねえ遊んでよ!」という感覚なのかもしれませんが、おばあちゃん猫のマロンはきつそうです。

しかし、そんなトラに親友ができました。それは、大学卒業を前に一人暮らしから戻ってきた息子です。息子は猫たちが大好きなのに、なぜかレオンもマロンも寄りつきません。きっと、レオンとマロンが家に来た時は息子はまだ小学生で、動物は子供が苦手なのでそのマイナスイメージが残っているのだと思います。トラだけは大人になった息子と出会えたので上手に甘え、ちゃっかり部屋のベッドで寝てたりします。息子になでられると気持ち良さそうにしています。それが可愛いのか、息子も「トラ可愛いね。良い子だね。」と声をかけています。「コラ!トラ!」と言う私と違って、優しい言葉をかける息子に寄り添うトラ。そんなトラを見て、「言葉は分らなくても、きっと、息子が受け入れている優しさは分るんだろうな。やっぱり、動物にも言霊が伝わるんだろうな。」と反省させられた私です。今後は、努力して「トラちゃん、やめようね。」に変えていこうと思います。